

CS-2SSN型 複式逆止弁(水用)

製品記号 CS2SSN-F

水道法性能基準適合品

各種給水システムにおいて、断水などで給水源の圧力が低下した際の逆圧による逆流を防止し、信頼できる安全な水道を守ります。

■特長

- 逆圧や断水時に、逆流以前に弁が閉止するスプリング方式ですから、安全性が高く、水撃防止形となります。
- 配管から逆止弁を外すことなく、メンテナンスを容易に行うことができます。
- 点検孔を設けたことにより、機能チェックが容易に行えます。
- 管端コア取付け可能ですから、赤水の発生を防止します。

■仕様

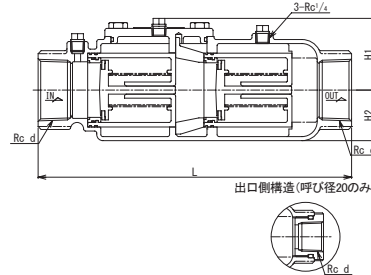
種類	複式逆止弁					
製品記号	CS2SSN-F					
呼び径	20~50					
適用流体	水道水					
流体温度	5~60℃(管端コア使用の場合5~40℃)					
適用圧力	1.0MPa以下 ^{注2}					
逆流防止圧力	$(\frac{1}{2} \times D + 30\text{mm})$ の水位~1.5MPa D:配管外径mm ^{注3}					
弁体の作動性	40kPa以下					
圧力損失 ^{注4}	基準流量において40kPa以下					
基準流量	呼び径	20	25	32	40	50
	流量	38L/min	60L/min	85L/min	150L/min	240L/min
端接続	JIS Rcねじ ^{注5}					
材質	本体(CAC406)、要部(合成樹脂・CAC406)、ディスク(塩素水耐性EPDM)					
本体耐圧試験	水圧にて1.75MPa					
取付姿勢	自由(垂直配管の場合は下から上の流れ方向に適用)					

注1. 日本水道協会規格「JWWA B129水道用逆止弁」に準拠しています。
 注2. 弁開最小差圧として0.03MPa程度必要です。
 注3. $(\frac{1}{2} \times D + 30\text{mm})$ は呼び径20の例では、D=27.2で計算値43.6mmになります。
 注4. 入口側動水圧0.15MPa、基準流量時です。(管端コアを使用した場合、圧力損失が増加します。)
 注5. ねじ部には管端コアを取付けできます。管端コア:P・V兼用可動形コア内蔵品も製作しています。

■寸法表

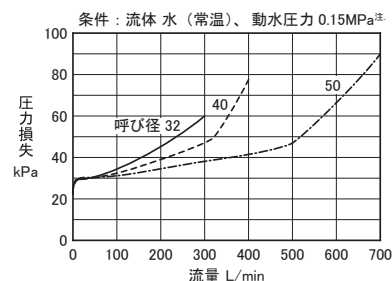
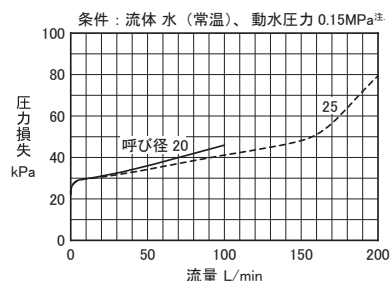
呼び径	d	L	H1	H2	質量(kg)
20	$\frac{3}{4}$	215	46	33	2
25	1	215	46	33	2
32	$1\frac{1}{4}$	275	61	41	4
40	$1\frac{1}{2}$	275	61	41	4
50	2	310	69	50	5

■構造図



注. 呼び径により構造が多少異なります。

■流量特性



注. 管端コアを使用した場合、圧力損失が増加します。



■取付け・取扱い上のポイント

1. 保守点検が容易な箇所に設置してください。
2. 本体の鋳出し矢印と流れ方向を合わせて取り付けてください。
3. 逆止弁を設置する前に、配管内を十分清掃してください。特に新設配管の場合、ゴミ、スケールなどの異物による作動不良が発生しやすいですから、40~60メッシュのストレーナの併用をおすすめします。
 ※網目:国土交通省仕様は、水用40メッシュ以上。ただし、消火ラインに使用する場合、ストレーナは併用しないでください。